

店舗一覧

明石市中央部	本店営業部	明石市本町2-3-20	078(912)4567
	明石駅前支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
	人丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
	林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431
明石市西部	西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
	市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
	大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
	江井ヶ島支店	明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623
	魚住支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
	二見支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221
加古川市・高砂市・播磨町	加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066
	宝殿支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711
	本荘支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270
三木市・小野市・加東市	三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
	緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231
	小野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
	天神支店	加東市天神492	0795(47)1011
神戸市東部	山支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
	魚崎支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-7	078(411)3281
神戸市中央部	六甲支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
	西灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431
	神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
神戸市北部	神栄支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
	宇治川支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
	兵庫支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
	平野支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
	板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001
神戸市西部	鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-1	078(591)1221
	ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
	藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489
西宮市	垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
	舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
	伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
	玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110
西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489	

〈にっしん〉

最新の決算 ミニガイド

◆2026年5月◆



水彩画：須飼 秀和

We will make a fresh step everyday.



日新信用金庫



フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
0120-15-2489
(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

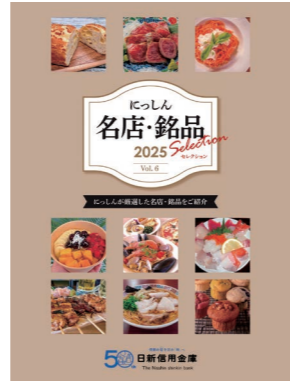
環境に配慮した植物油インキを使用しています。

日新信用金庫
The Nissin shinkin bank

2025年度の出来事(10月~3月)

10月

- 1日 融資取引に係る「電子契約サービス」を開始しました。
- 15日 「第66期リフレッシュサロン(全6回)」を開催しました。(以後11月19日、12月17日、1月21日、2月25日、3月18日)
「にっしん名店・銘品セレクション(Vol.6)」を発刊しました。



「にっしん名店・銘品セレクション(Vol.6)」を発刊:2025年10月

11月

- 10日 スーパー定期「タコちゃん3年生・5年生」の取扱いを開始しました。(2026年1月9日まで)
- 10日 「〈にっしん〉子どもおうえん定期預金」の取扱いを開始しました。(2026年2月27日まで)
- 17日 西宮今津支店でご来店感謝デーを実施しました。(2025年11月28日まで)
- 19日 「講演会・総代懇談会」を開催しました。(ザ マーカスクエア神戸にて)
「日新信用金庫50周年記念誌」を発刊しました。



「日新信用金庫50周年記念誌」を発刊:2025年11月

12月

- 1日 フォトコンテスト「まちかどカメラマンコンテストII」を開催しました。(応募期間 2026年1月30日まで)
- 4日 林崎支店でご来店感謝デーを実施しました。(12月4日、5日)
- 8日 「タコちゃん・ぬり絵大会」を実施しました。(応募期間 2026年1月16日まで)
- 17日 ひよどり台支店でご来店感謝デーを実施しました。(12月17日、18日、19日)



(講演会・総代懇談会開催:2025年11月)

1月

- 7日 「新春吉本お笑いバラエティーショー2026」を開催しました。(神戸国際会館「こくさいホール」にて)
- 13日 六甲支店でご来店感謝デーを実施しました。(2026年1月23日まで)



(タコちゃん・ぬり絵大会実施:2025年12月)

2月

- 28日 「第3回 親子で学ぼう!お金のセミナー」を開催しました。(あかし市民広場にて)

『第3回 親子で学ぼう!お金のセミナー』



子どもたちに、巨大すろろくやお札のつかみどりなど、さまざまな体験型ブースを通じて、「お金」の知識を深めていただきました。(あかし市民広場:2026年2月)

『新春 吉本お笑いバラエティーショー2026』



吉本興業の芸人さんによる新喜劇や漫才で新春の初笑いをお届けしました。(神戸国際会館「こくさいホール」:2026年1月)

3月

- 2日 スマートフォンアプリ「日新信用金庫アプリ(Myにっしん)」を開始しました。
- 2日 「タコちゃんバトンタッチ定期預金」の取扱いを開始しました。(2026年3月31日まで)
- 2日 スーパー定期「タコちゃん1年生・3年生」の取扱いを開始しました。(2026年4月30日まで)
- 15日 小学生を対象にしたサッカー大会「第1回 にっしんタコちゃんCUP」を開催しました。(魚住小学校にて)



「まちかどカメラマンコンテストII」を開催:2025年12月

イベントの開催

地域とともに



地域行事への参加やイベントなどを通じて、地域の皆さまとのつながりを大切にしています。
(第1回にっしんタコちゃんCUP:2026年3月)

新たな商品の発売



(バトンタッチ定期預金の発売:2026年3月)

もっと便利に



(Myにっしんのリリース:2026年3月)

周年感謝デーの開催

林崎支店が開店40周年、ひよどり台支店が開店50周年を迎えました。これまでの感謝の気持ちを込めて、ご来店感謝デーを実施しました。



(林崎支店:2025年12月)



(ひよどり台支店:2025年12月)

特殊詐欺被害防止の啓発活動

特殊詐欺の被害が増加しています。大切な財産を守るため、地元の警察署と連携しながら特殊詐欺被害防止に向けた啓発活動を実施しています。



(魚崎支店:2025年11月)

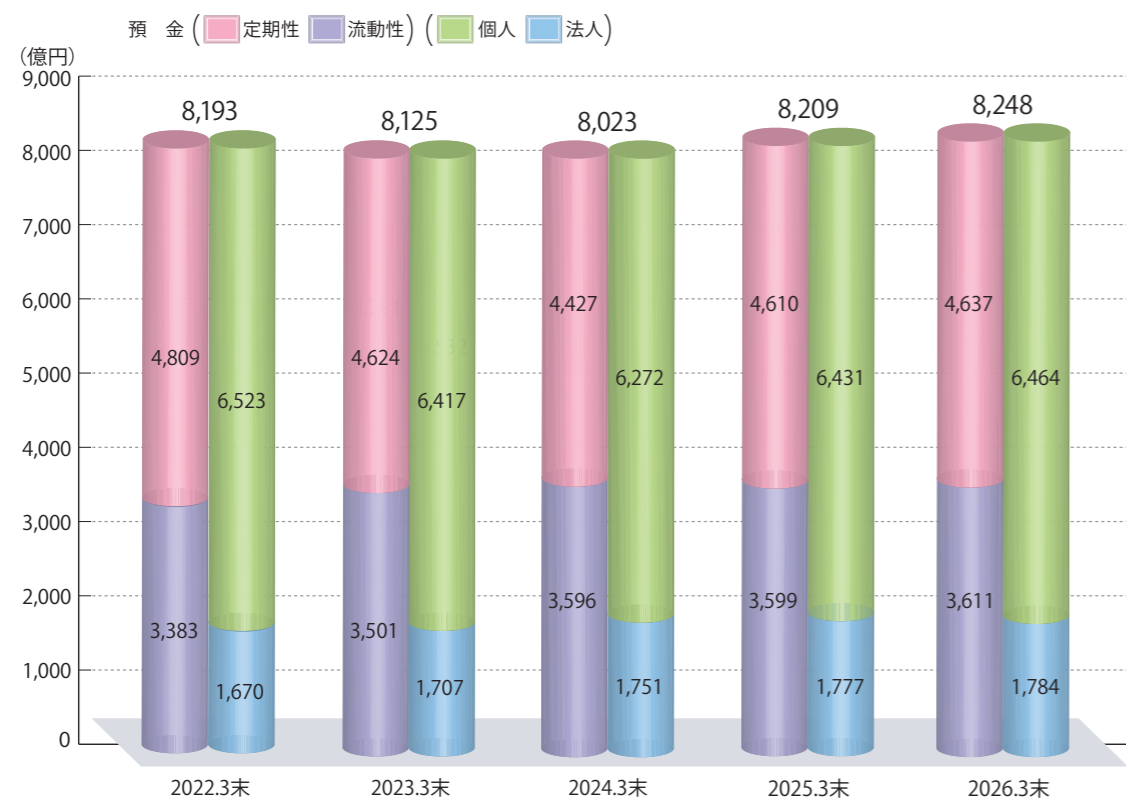


本店(人事部・総務部:2025年12月)



(伊川谷支店:2025年12月)

預金



● 預金

預金は、2025年3月末に比べて39億円増加し、過去最高の8,248億円となりました。キャンペーン定期預金・懸賞金付き定期預金・年金の受取りを当庫に指定していただいているお客さま向けの定期預金の取扱い等で、定期性預金は27億円増加しました。

また、法人のお客さまとの取引深耕が図れたこと等により、流動性預金も11億円増加しました。

今後もお客さまの様々なご要望やご意見にできる限りお応えし、皆さまに喜ばれる商品開発・サービスを目指してまいります。

● 貸出金

貸出金は、2025年3月末に比べて28億円増加し、4,080億円と過去最高となりました。保証協会保証付き貸出金はコロナ融資の返済が進み、47億円減少したものの、伴走支援や資金繰り支援に取組んだことに加えて、地方公共団体への貸出金が76億円増加したことによるものです。

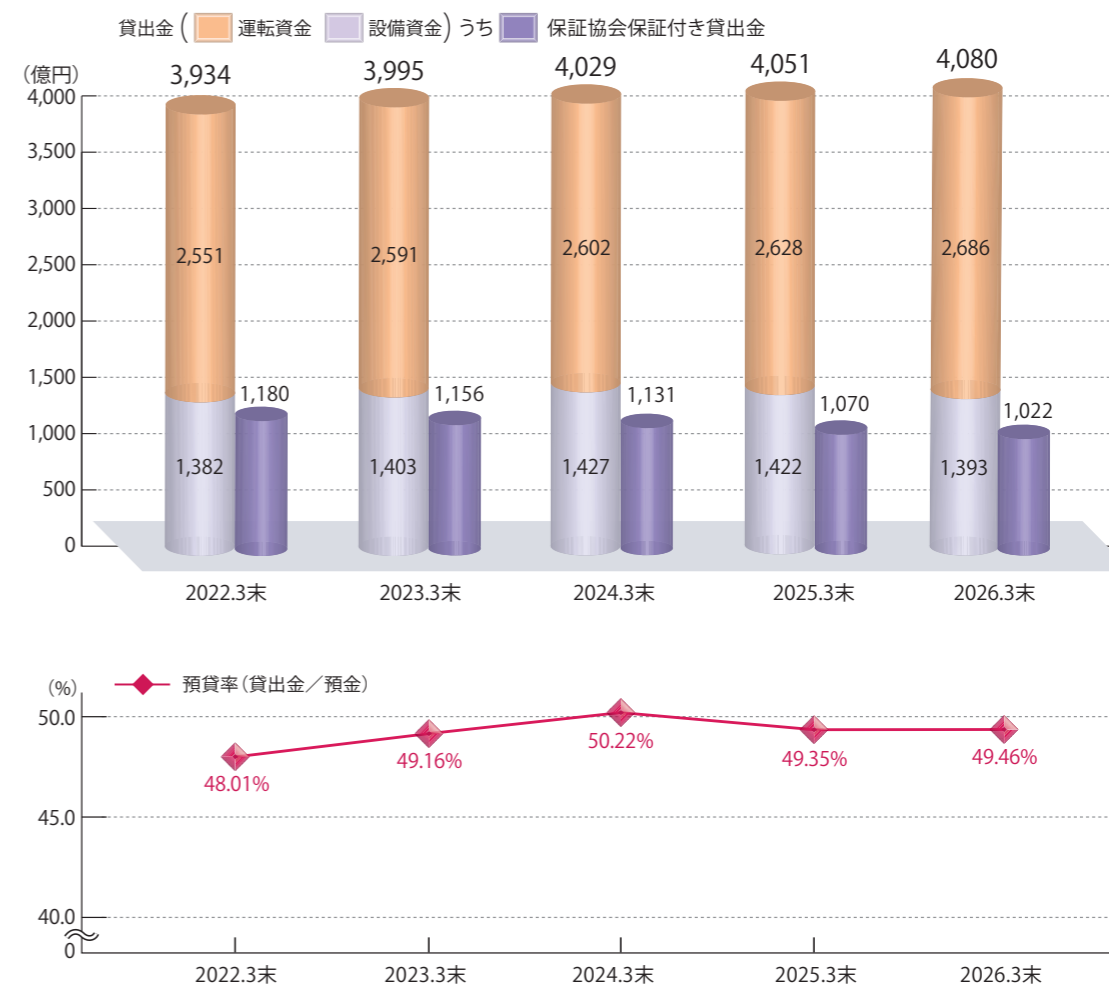
預貸率は、貸出金の伸び率が預金の伸び率を上回ったため、0.11ポイント上昇して49.46%となりました。

今後も地域の皆さまがかかえておられる課題の解決に全力で取組み、適切で円滑な資金供給に努めてまいります。

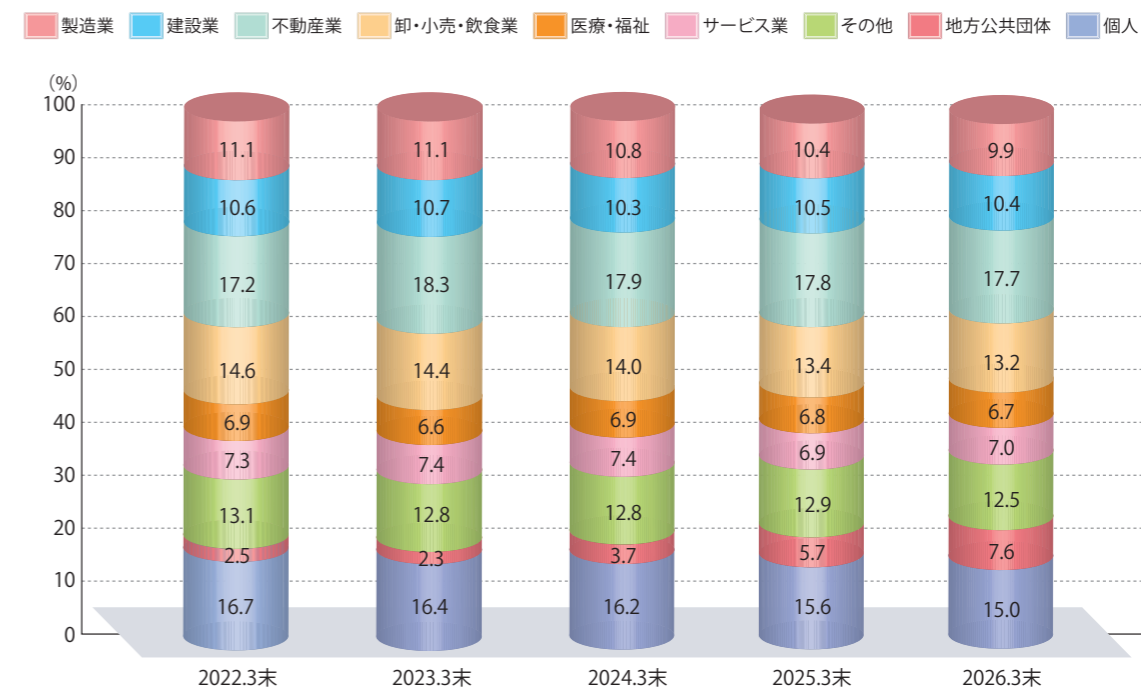
● 業種別構成比

貸出金の業種別構成比の推移をみると、2025年3月末に比べて地方公共団体とサービス業で増加しました。

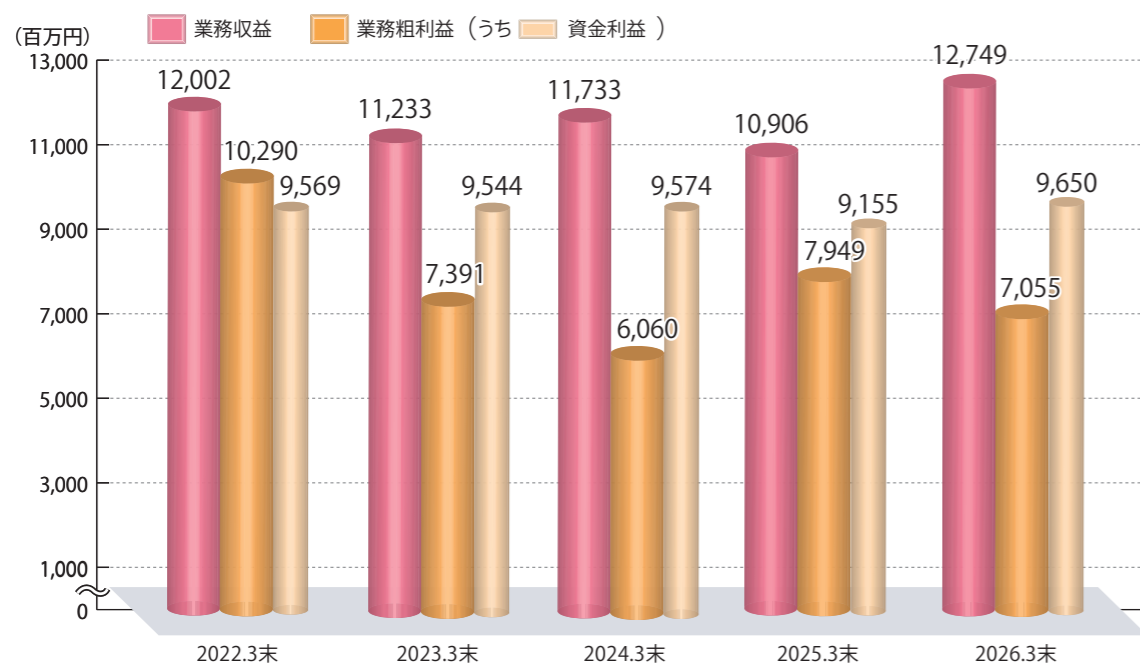
貸出金と預貸率



貸出金の業種別構成比の推移



業務収益、業務粗利益(うち資金利益)

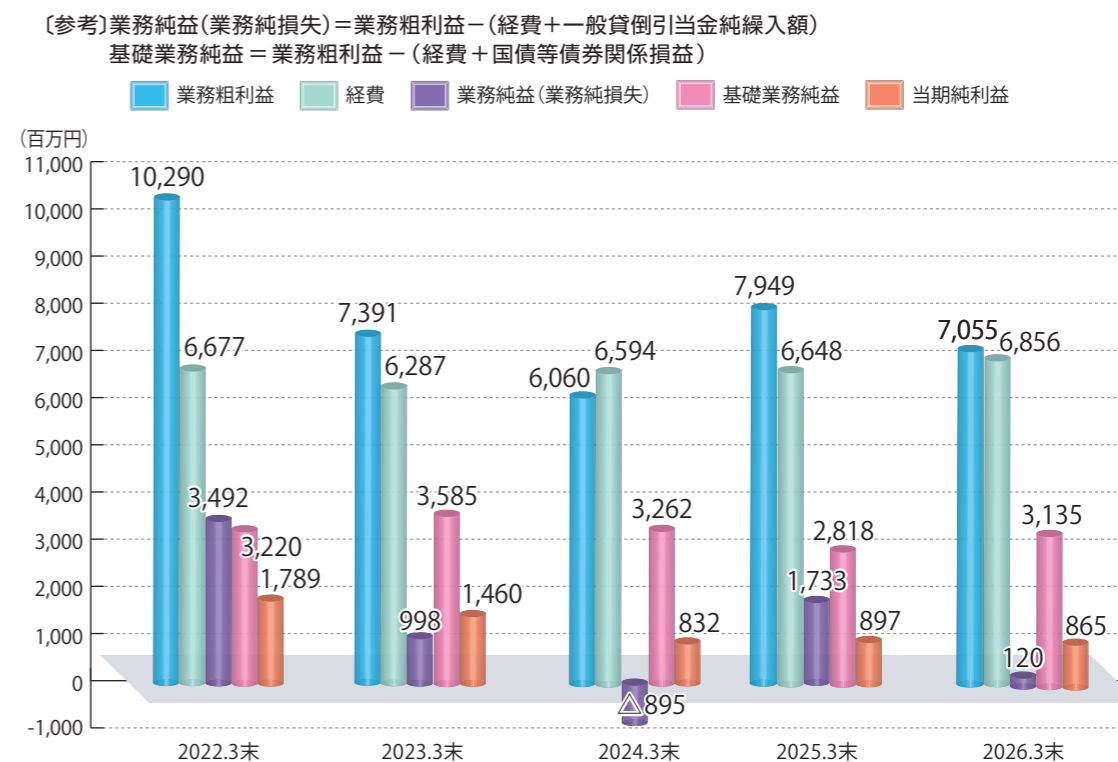


業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役員取引収入等)は、一般企業の売上に当たります。貸出金利息収入が960百万円、預け金利息収入が594百万円、有価証券利息配当金収入が237百万円増加したことから、2025年3月末に比べて1,842百万円の増収になりました。

業務粗利益(業務収益-預金利息等の原価)は、業務収益が増収となったものの、預金利息が1,116百万円、債券売却損・償還損が1,397百万円増加したことから、2025年3月末に比べて894百万円の減益となりました。

金庫の中核的業務から得られる資金利益(貸出金、有価証券、預け金の運用から発生する利益-預金利息)は、預金利息が増加したものの、貸出金利息収入、預け金利息収入、有価証券利息配当金収入が増加したことから、2025年3月末に比べて494百万円の増益となりました。

業務粗利益、経費、業務純益(業務純損失)、基礎業務純益、当期純利益



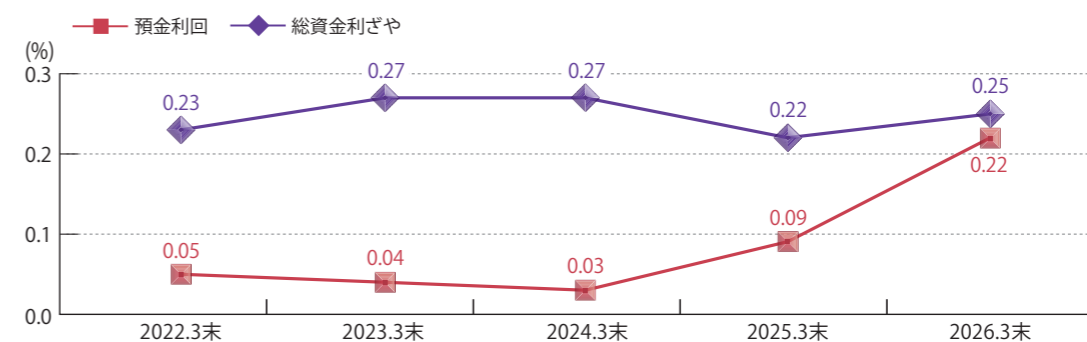
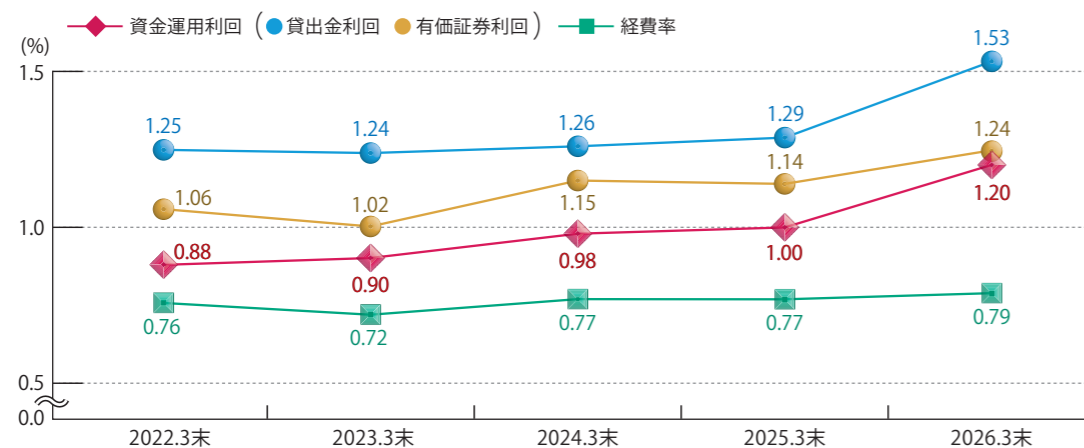
経費は、各種システムの導入やライセンス更新による物件費の増加などにより2025年3月末に比べて207百万円増加しました。

業務純益は、業務粗利益の減益や経費の増加に加えて、一般貸倒引当金繰入額が510百万円増加したことにより、2025年3月末に比べて1,612百万円減益の120百万円となりました。

また、債券売却損益などを除いた本業での収益力を示す基礎業務純益は、3,135百万円と2025年3月末に比べて316百万円の増益となりました。

当期純利益は、業務純益が減益となったものの、個別貸倒引当繰入額の減少や株式等売却益の増加により2025年3月末に比べて32百万円減益の865百万円となりました。

資金運用利回(貸出金利回+有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや



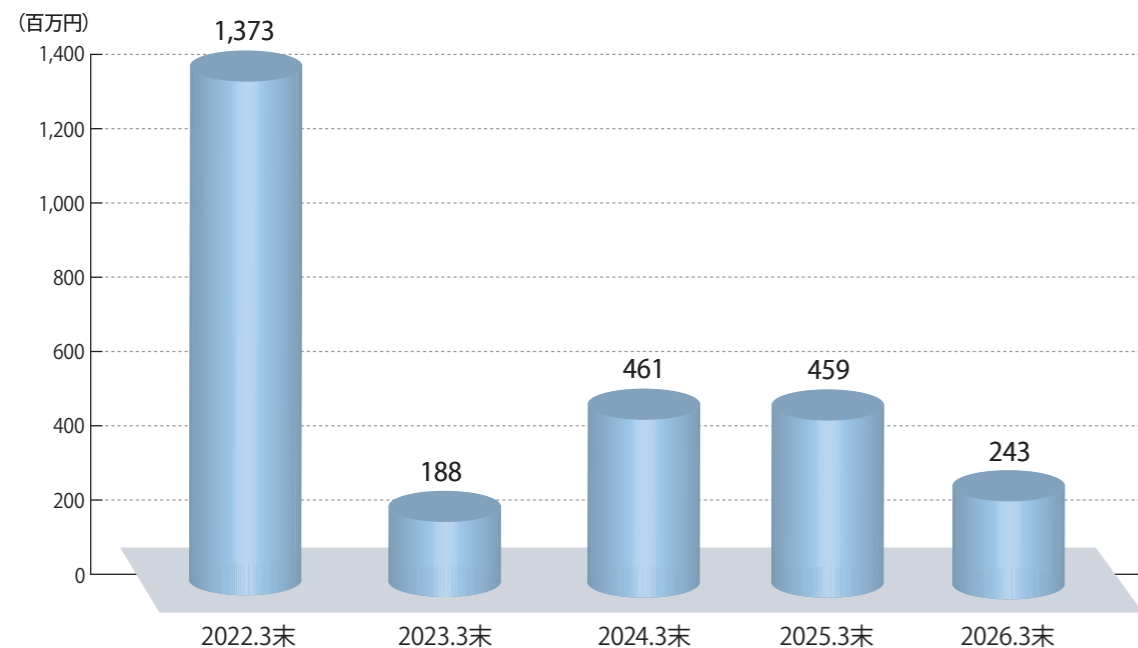
資金運用利回は、貸出金利回と有価証券利回がともに上昇したことから、1.20%に良化しました。

総資金利ざやは、預金利回が上昇したものの、資金運用利回が良化したことから、0.25%になりました。

これからも収益力の強化に努めてまいります。

貸出金にかかる不良債権処理費用等*

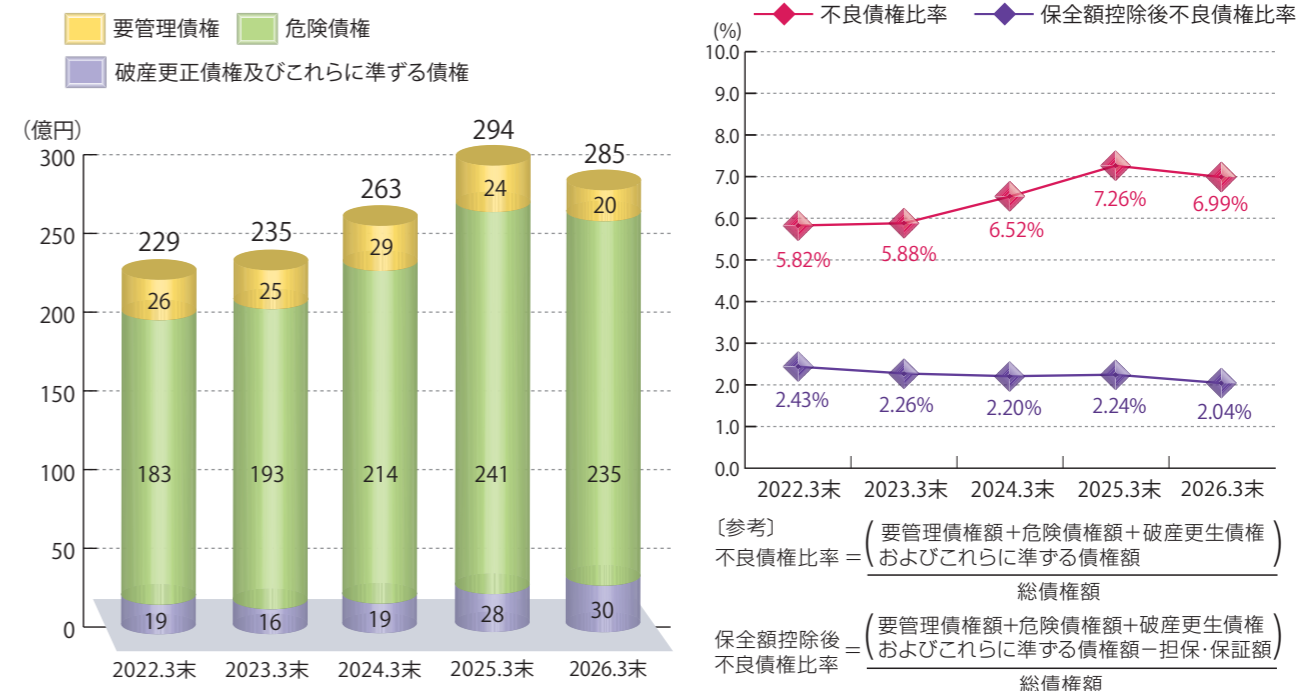
*貸出金にかかる不良債権処理費用等は、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金純繰入額、債権償却額等の合計額です。



2026年3月末の不良債権処理費用等は、243百万円となり、2025年3月末に比べて215百万円減少しました。一般貸倒引当金が貸倒実績率の上昇により510百万円増加したものの、大口先の倒産等もなく個別貸倒引当金が783百万円減少したことにより、前年度に比べて不良債権処理費用は減少しました。

お客さまの課題についてきめ細かな支援を全力で取組むと同時に、将来のためにも十分な引当を行ってまいります。

不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率

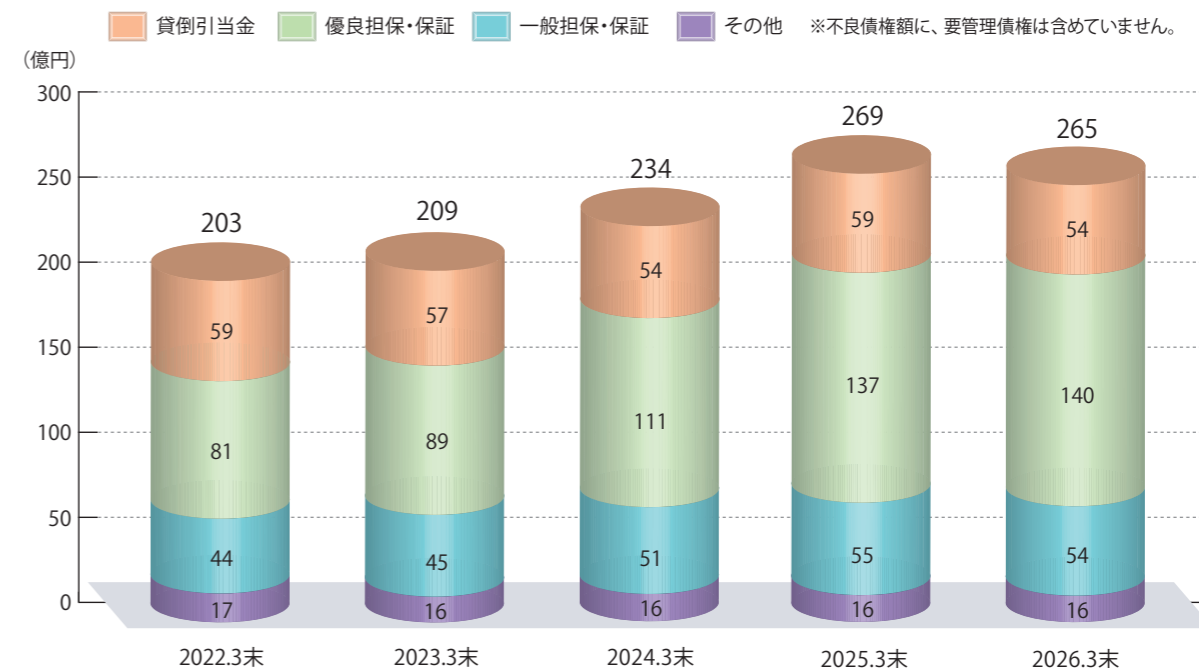


不良債権は、要管理債権、危険債権、および破産更生等債権に分類されます。不良債権残高は285億円となり、2025年3月末に比べて9億円減少しました。不良債権比率は2025年3月末に比べて0.26ポイント低下し6.99%となりました。担保・保証を差し引いた保全額控除後不良債権比率は2.04%となっています。今後も事業性評価や外部支援等を活用して、お客さまの経営改善に一体となって取組み、不良債権の減少に努めてまいります。

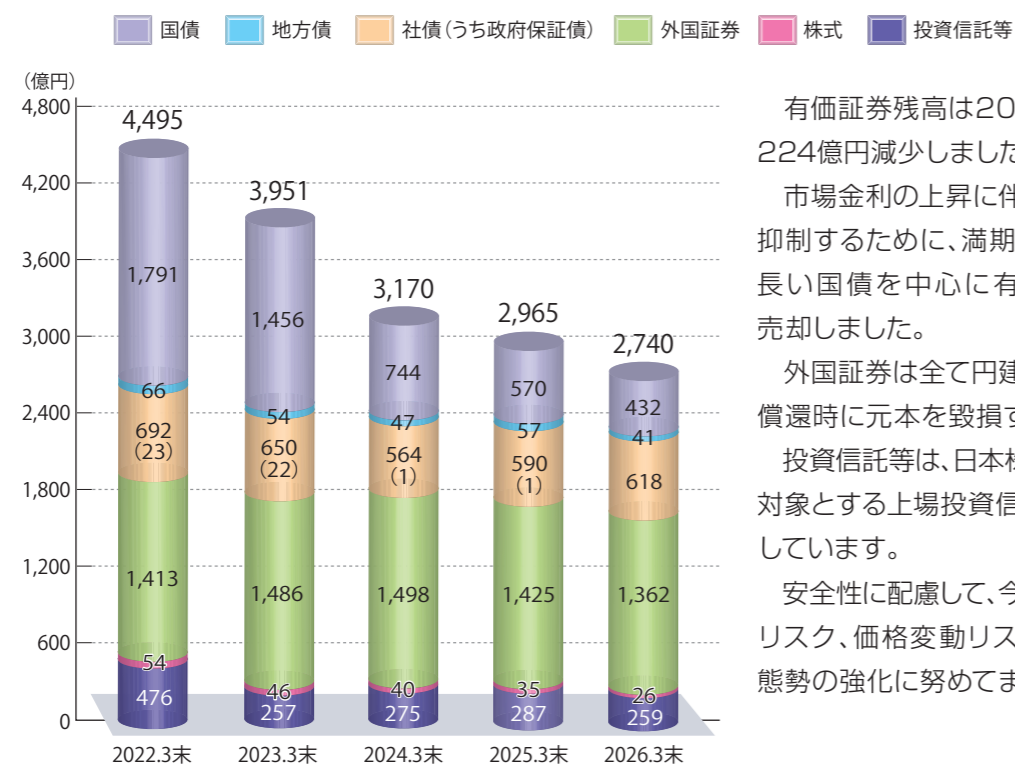
不良債権(要管理債権を除く)の保全状況

不良債権(要管理債権を除く)265億円の保全状況は右のとおりです。貸倒引当金は54億円を計上しています。これは会計上損失処理済となります。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている140億円と一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている54億円を合わせた194億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの16億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

不良債権に対する保全率は91.35%となっています。



有価証券の種類別保有状況(期末残高)



有価証券残高は2025年3月末に比べて224億円減少しました。

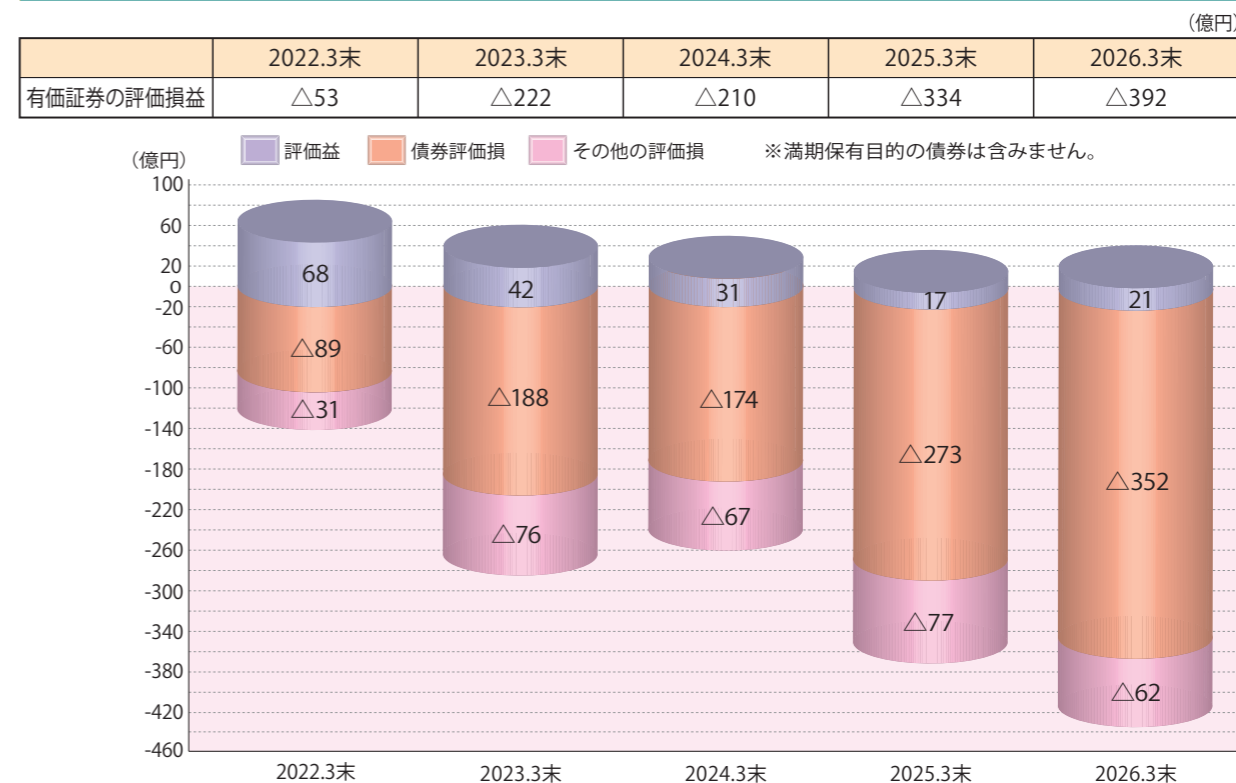
市場金利の上昇に伴う債券価格の下落を抑制するために、満期までの期間が比較的長い国債を中心に有価証券を235億円売却しました。

外国証券は全て円建てで為替変動により償還時に元本を毀損するものではありません。

投資信託等は、日本株や米国国債等を投資対象とする上場投資信託(ETF)を追加購入しています。

安全性に配慮して、今後も金利リスク、為替リスク、価格変動リスクなどのリスク管理態勢の強化に努めてまいります。

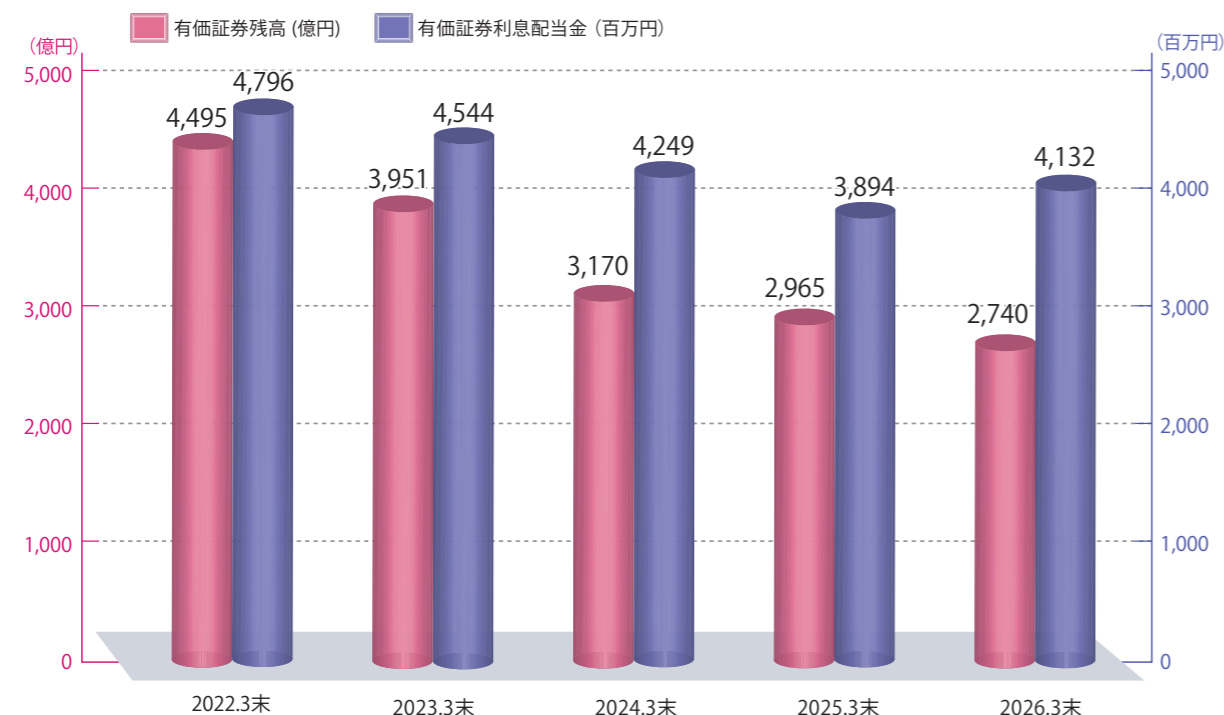
有価証券の評価損益の推移



有価証券の評価損益は2025年3月末に比べて58億円悪化の△392億円となりました。

評価損のうち債券の評価損は△352億円と約8割を占めています。債券は投資先の倒産などがなければ満期償還時に評価損がなくなり、額面全額が償還されるので原則として保有を継続する予定です。日本銀行の利上げを想定した先行きのシミュレーションにおいても有価証券評価損益が金庫経営に与える影響は限定的となっています。

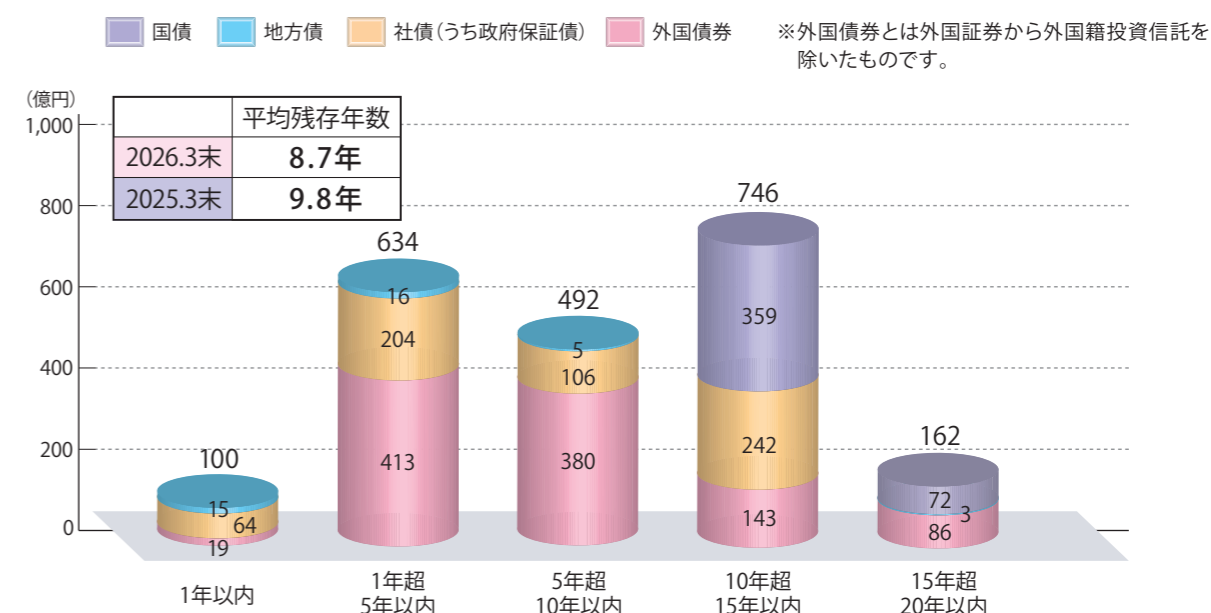
有価証券利息配当金の推移



有価証券利息配当金は2025年3月末と比べて237百万円増加しました。

有価証券残高は減少しましたが、低利回りの債券を売却して高利回りの債券に入れ替えることで、有価証券利息配当金の減少を抑えています。

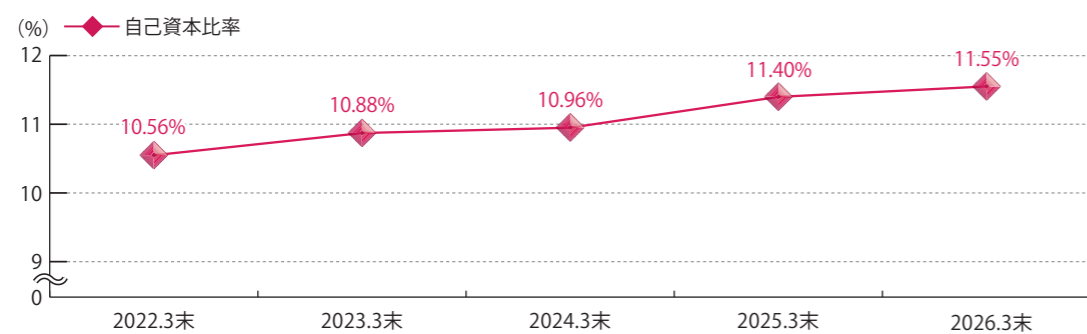
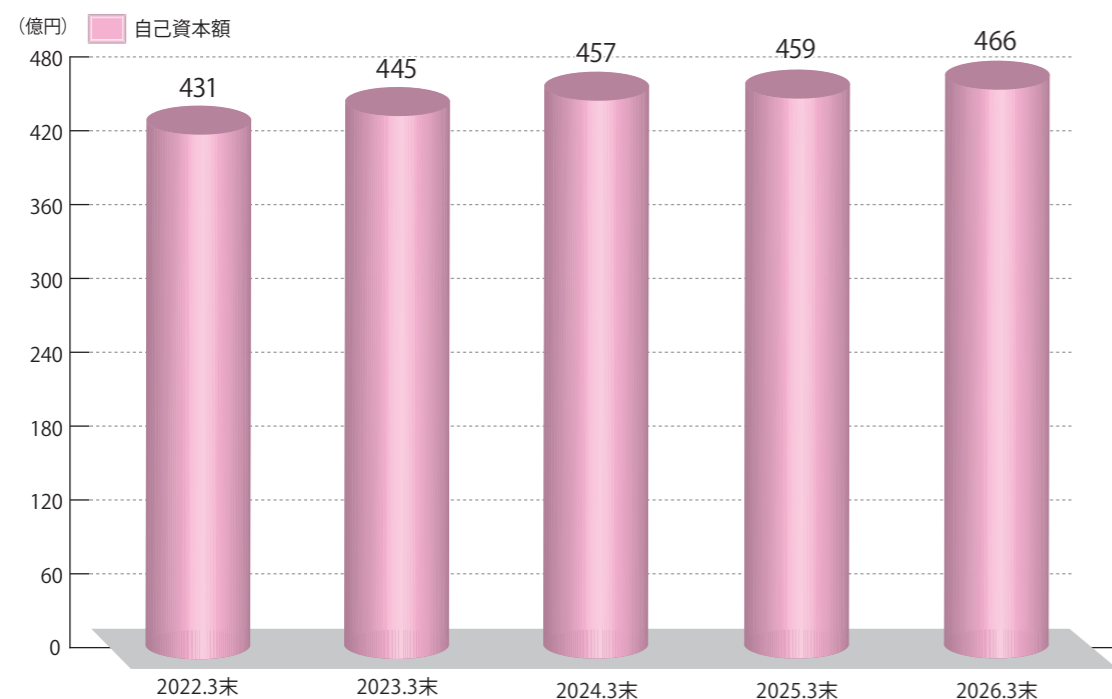
債券〔償還までの期間別に見た残高〕



有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したグラフです。国内債券の一部売却により期間10年超の残高圧縮を進めた結果、平均残存年数は2025年3月末に比べて1.1年短縮しました。

なお、期間10年超の債券への新たな投資は行っていません。

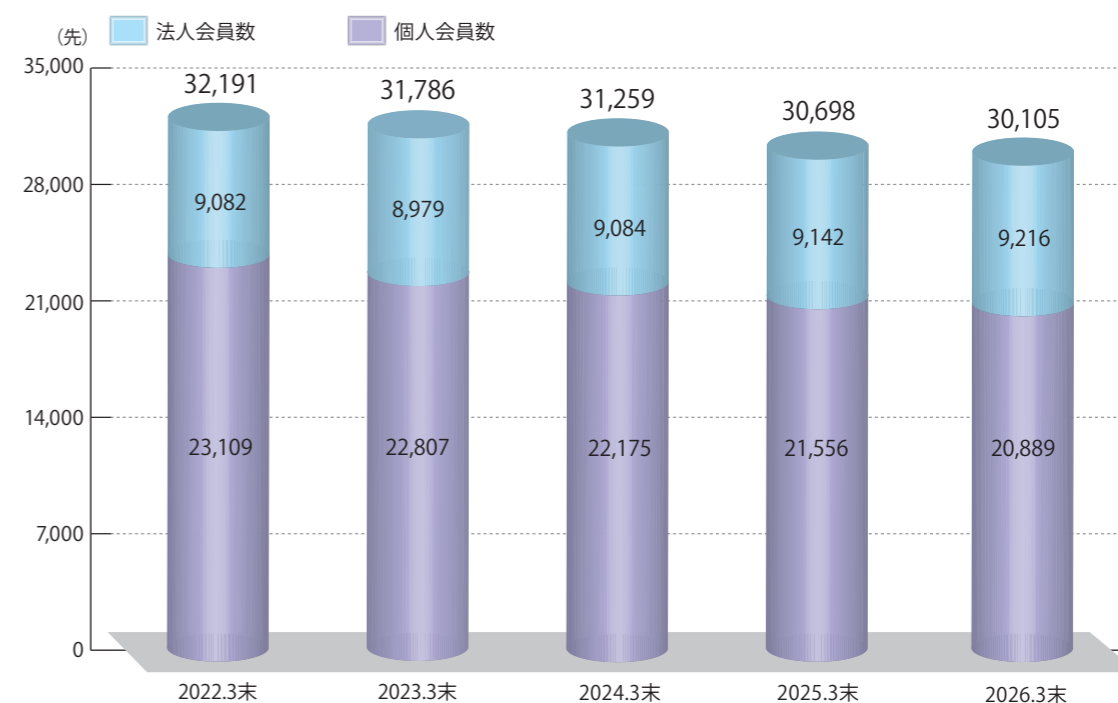
自己資本額と自己資本比率(信用金庫単体)



	(億円)				
	2022.3末	2023.3末	2024.3末	2025.3末	2026.3末
リスクアセット	4,082	4,098	4,170	4,027	4,032

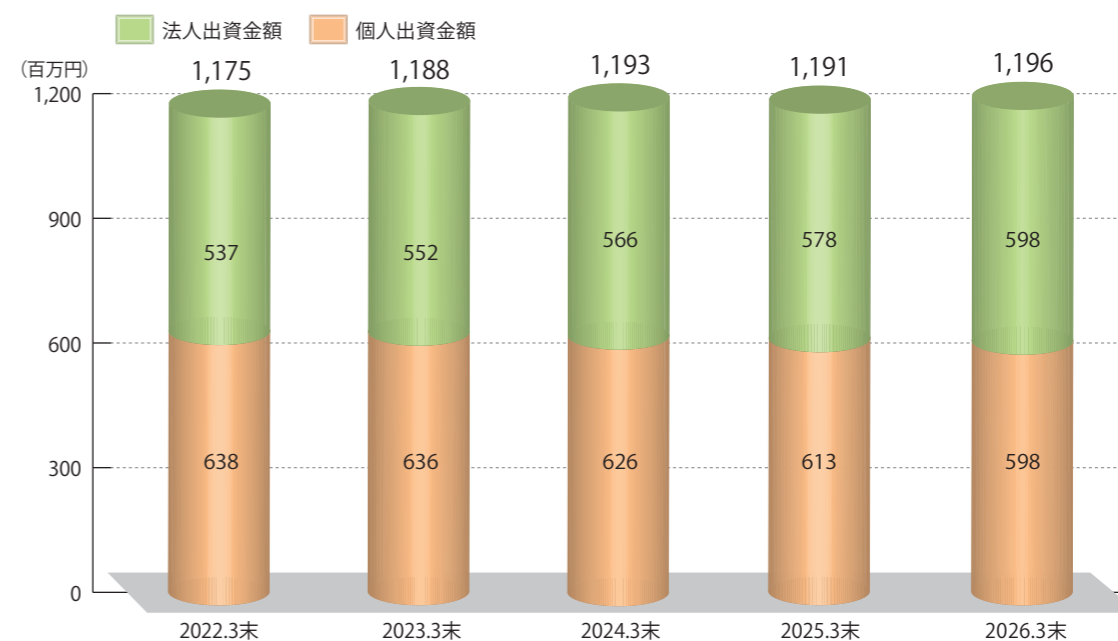
自己資本比率は2025年3月末に比べて0.15ポイント上昇の11.55%となりました。
 これは貸出金の増加が主な要因となってリスク・アセット等の合計額が5億円増加したものの、自己資本の額が6億円増加したことによるものです。
 国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持しています。
 これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

会員数



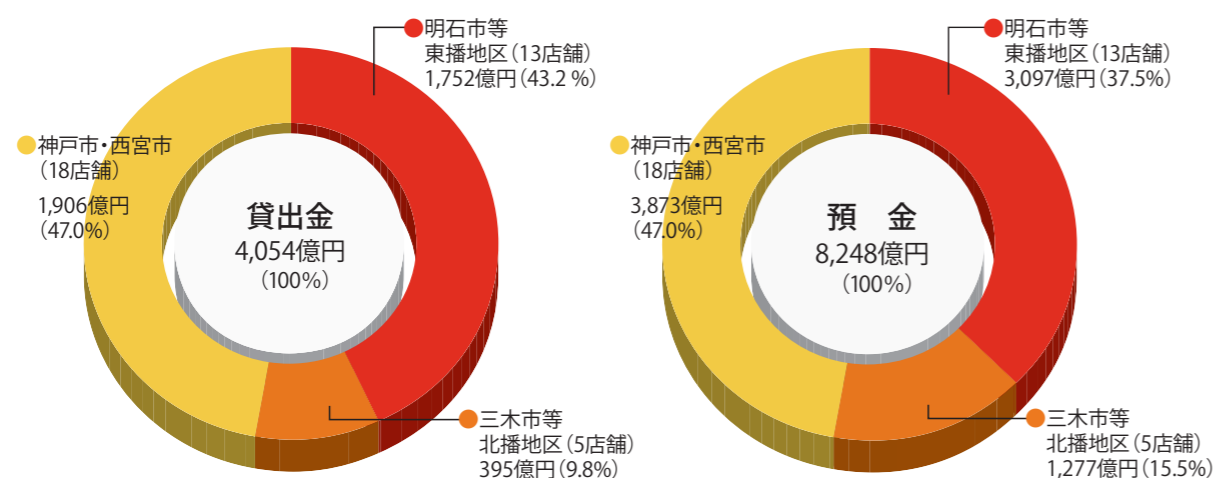
法人会員数は2025年3月末に比べて74先増加したものの、個人会員数は所在不明会員の除名および死亡等による法定脱退が多く、667先減少し、全体の会員数は593先減少しました。

出資金額

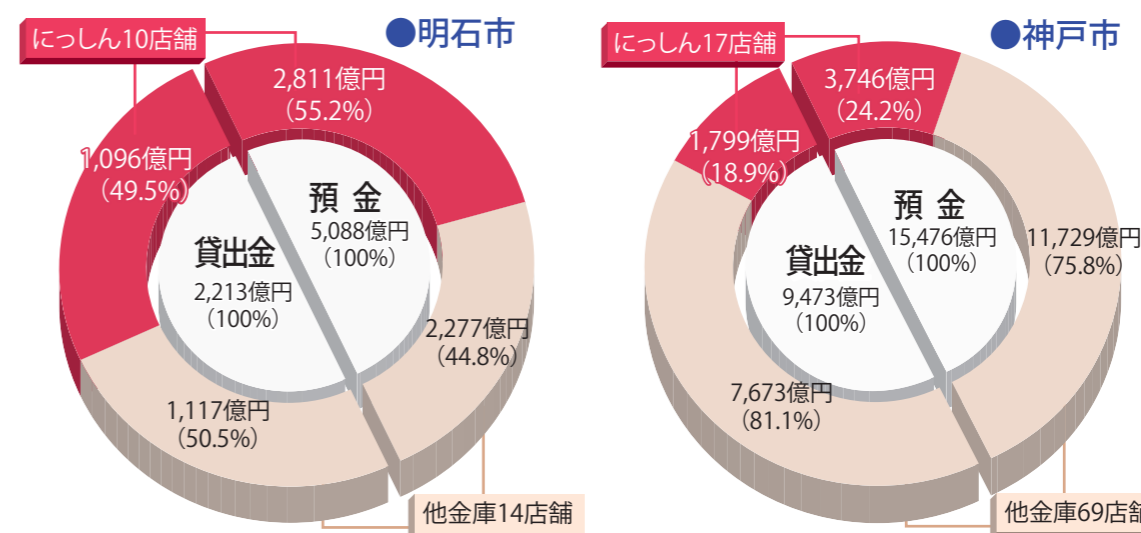


会員数は減少したものの、増口申込が増加したことから、2025年3月末に比べて4百万円増加しました。

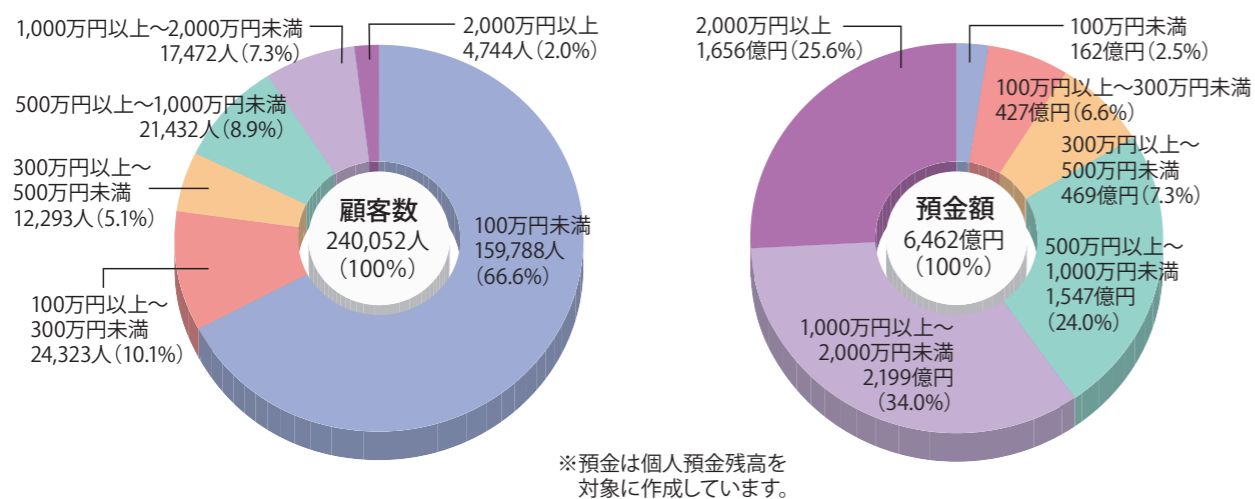
貸出金・預金の地域別構成 (2026年3月31日現在)



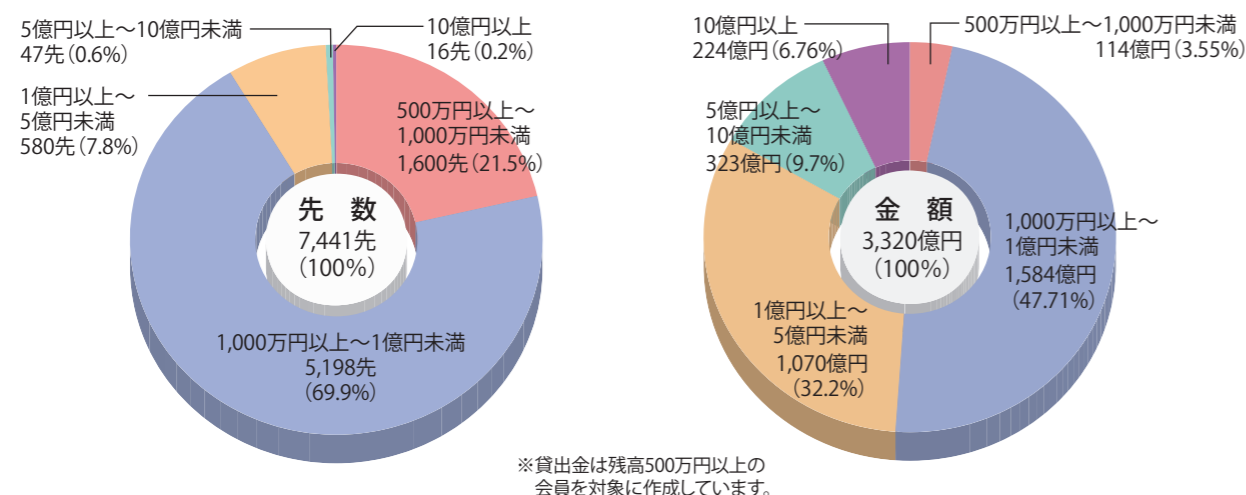
信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア (2025年9月30日現在)



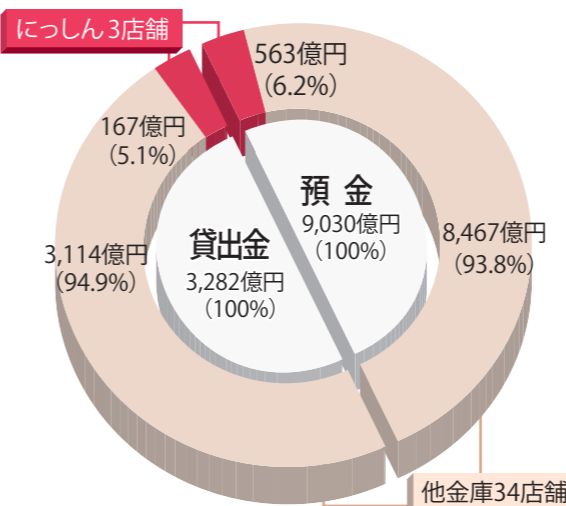
預金者のプロフィール〈個人預金の残高階層別に見た顧客数と預金額〉(2026年3月31日現在)



貸出先のプロフィール〈貸出金の残高階層別に見た先数と金額〉(2026年3月31日現在)



加古川市・高砂市・播磨町



西宮市

